

「スーパードライ エコパック」中四国エリアで数量限定発売

紙の使用面積を従来比で最大約 8 割削減した紙資材「エコパック」を採用

アサヒビール株式会社（本社 東京、社長 松山一雄）は、6 缶パックにおける紙の使用量を大幅に削減した紙資材「エコパック」を採用した『アサヒスーパードライ エコパック』（缶 350ml×6 缶、缶 500ml×6 缶）を、中四国エリア 9 県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で 9 月 2 日、10 月 7 日、11 月 5 日に数量限定で発売します。



<通常の 6 缶パック>



<エコパック>

「エコパック」は缶の上部のみ固定する紙資材で従来使用していた 6 缶パック資材と比べ、紙の面積は缶 350ml の 6 缶パックで 77%、缶 500ml の 6 缶パックで 81%削減しています。

中四国エリアで販売する「スーパードライ」の 6 缶パック資材は年間で缶 350ml は約 560 万枚、缶 500ml は約 390 万枚を使用^{※1}しており、全数をエコパックに切り替えた場合には紙の使用量は約 196t、資材製造に伴う CO₂ 排出量は 164t 削減できる見込みです。

中四国エリア限定の TVCM を 9 月 2 日以降、各発売日に合わせて放映します。紙の使用量を削減した環境にやさしい商品であることを訴求し「エコパック」の認知拡大や購入喚起を図ります。

アサヒグループでは「環境ビジョン 2050」を策定し、「気候変動」「容器包装」「農産物原料」「水資源」の 4 つのテーマを柱として、豊かな自然の恵みを未来世代へつなぐことを目指しています。当社は 2021 年に日本で初めて^{※2}「エコパック」を採用し、テスト展開に取り組んできました。お客さまからは「ゴミが減るのがうれしい」や「思ったより頑丈で持ちやすい」など好評の声がありました。紙の使用量を大幅に削減した「エコパック」の展開拡大を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

※1：2024 年実績

※2：当社調べで、缶体の上部のみを固定する 6 缶パック紙資材においては日本で初採用

<本件に関するお問い合わせ先>

アサヒグループホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部門 電話:03-5608-5126

<お客様からのお問い合わせ先>

アサヒビール株式会社 お客様相談室 電話:0120-011-121